

# ヘパリン起因性血小板減少症 (Heparin-induced thrombocytopenia : HIT)

- I型とII型がある
- I型はヘパリン開始後1～2日後に軽度の血小板減少が生じるが、臨床症状や血栓の合併症はなく、自然に血小板数は回復する
- II型はヘパリン依存性自己抗体が血小板を活性化し、血小板数の急激な低下と重篤な血栓症を引き起こす
- 多くはヘパリン開始後5～14日目より血小板減少が始まる
- 透析回路の凝血形成の有無を確認し、HIT抗体を測定する
- ヘパリンを中止し、アルガトロバンを使用する